



「古屋まさお」とともに歩む

友雅会 ニュース

発行元：友雅会

〒405-0007
山梨県山梨市七日市場816-7
TEL 0553-23-6688
FAX 0553-22-3700
■編集責任者：古屋 雅夫
秋冷の候、体調管理に留意して頂き、食欲・味覚の秋を満喫して下さい。

9月
定例
議会
報告
例

代表質問で今後の市政課題の基本を質す 平和行政の推進、財政の健全化、市立産科医構想、新ゴミ処理施設の開業と課題等

山梨市議会議員 古屋まさお



平成25年度一般会計決算審査 (9月22日～25日)を踏まえた全体的な所感

決算特別委員として審査を行なった。予算執行状況は概ね適正であり、一方、改善が必要な事項もあることから積極的に質問・提言を行なった。

(1) 平成25年度歳入は189億3400万円余、歳出179億800万円余となり経常収支率は82.9%。合併後2番目に良い状況となり、(市の妥当数値は75%)歳入は前年対比で6.1%増加した。実質黒字額は7億6579万円余となり、引き続き多くの市民要望に応えるため更なる自主財源確保と行政改革を進める必要があると考える。

(2) 地方債残高は215億7800万円余となっており公債費負担率は17.4%、実質公債費比率は13%と注視しなければならない。将来負担を減らすためには市債の発行を抑制し、市債残高を減らす努力が重要である。

(3) 市税などの不能欠損処理は前年度に比べ、減小したものの2562万円余となっており依然として多額の状況にあり、税の公平性の観点からも不能欠損額の削減に更なる取り組む努力が必要である。

(4) 特別会計・国民健康保険税は、総額46億9300万円余となり税込改正に伴い1億2千万円余の増となった。一方、収入未済額は2億4100万円余となっており収納率の向上対策に向けた努力、および医療費の伸びに対する医療費の抑制・適正化等、更なる周知等を推進する努力が必要である。

9月2日～30日まで9月定例議会が開かれ、平成25年度の決算審査及び市長から提案された議案は子ども・子育て支援法に伴う市の特定保育事施設、事業運営に関わる条例の新設等5件、補正予算関係9件、決算認定関係12件等ならびに人権擁護委員の推薦についての審議が行われました。補正予算の総額は3億6422万円余を追加し総額204億6372万円余提案され審議の結果、原案通り可決されました。補正予算では、①次期住民情報システム構築費2億6760万円余、②雪害による廃棄物処理経費1120万円余、③緊急避難道路沿道建物耐震化補助800万円、④山梨市立産婦人科建設基本構想策定委託費200万円余など今年度は雪害対策等で大型予算となった。

「古屋まさお」市議は10月17日の本会議で「市民の会」を代表して代表質問に立ち今後の市政運営の課題について質した。主な事項について報告します。

※ 記事は古屋まさお市議のメモであることから適切な表現、言葉足らずの箇所がありますがご容赦願います

「古屋まさお」代表質問内容と 市の見解(主な事項)

■平和行政の推進について

・核兵器廃絶平和年宣言垂幕等の常設および平和教育の推進について

(市長) 唯一の被爆国として核兵器の廃絶を強く願うと共に、可能であれば平和利用を望む「核兵器廃絶平和年宣言」懸垂幕および看板の常設に向け検討したい。また、恒久平和のため山梨市、日本を愛する「愛郷心を育む」施策に積極的に取り組む。

■財政の健全化について

(市長) 財政の健全化を維持しつつ市民サービス等の充実を図るため、「選択と手中」の強化。平成27年度は人口減少、少子

2面へ続く

可燃ごみ処理袋価格と 収集回数の統一に向けて

新ごみ処理施設の操業（平成29年4月）に合わせてごみ袋価格・形状、色の統一化を目指す。

- 旧・山梨市ごみ袋（大）販売価格150円の内訳（1包）
 - ・ごみ袋（大）製造費57.75円
 - ・販売委託費（N社）5円
 - ・小売店への報償金として20円
- 牧丘・三富地域100円
- 粗大ゴミの中継基地をどこの地域に協力をお願いするかも大きな課題です。
- 生ゴミの収集回数：旧山梨市・週3回、牧丘・三富地域・週2回

1面代表質問の続き

高齢化社会に対応したまちづくりを進めたい。新規事業については必要性、費用対効果見極めて財源措置を行なう。継続事業は実効性を検証し事業の廃止、縮小の検討により再構築、最適化を目指し、財源確保に努める。また基金の取り崩しを少なくし、歳入に見合った財政運営を推進していく。

■公共施設の運営・管理を含む在り方について

（市長）今年度は公共施設現況調書に基づく取りまとめを行い平成27年度に「長寿命化計画」と合わせた総合的な方針を検討し、平成28年度に公共施設等管理計画として公表できるように進める。

■山梨市立産科施設構想について

（市長）公設民営方式とし、土地は山梨高校西側に確保したい。建物は市で建設、医療法人東雲会に指定管理する予定。建設コストに係る負担は産科医と応分の負担で大筋合意。高額医療器具は産科医に負担していただくことで検討。

委託業者の入札は事業特殊性があることから、設計は随意契約、建設は一般入札としたい。

■岩手橋周辺整備ならび七日市場1号線の強化推進について

（市長）岩手橋の架け替えも視野に入れ中で、岩手橋周辺から甲州市に至る道路網整備は急務である。県は平成24年度には、公共事業の評価会議で調査が認められ、橋の架け替えや、甲州市側接続位置等の課題があることから甲州市

と協議を進め検討行なうこととなっている。市は甲州市との連携強化を図り緊急時に強い道路として事業推進に向け、今後も県に働きかける。

■甲府・峡東地域ごみ処理施設の操業に向けた課題について

（市長）新ごみ処理施設の工事は平成29年4月操業に向け本体工事に着手した。市としては、生ごみは直接回収し搬入、粗大ゴミは等市内に中継場所が必要と考える。なお、中継所については慎重に検討したい。また、ごみ袋の価格は市内（旧山梨と牧丘・三富地域）における統一価格化を操業までに目指す。合わせてごみ収集回数についても地域事情、排出量等を考慮し判断、決定していきたい。

★通学路の安全対策の推進が図られる

通学路等歩道の安全対策について提言。今回、日下部公民館前・市道の歩道工事が行われ「みかど食堂」から幅2m、延長約65.5mが完成。残り約60mについては平成27年度事業で実施予定。



山梨県直産品のPR活動に参加



9月23日に小瀬・山梨中銀スタジアムにおいてサッカーJリーグ・ヴァンフォーレ甲府とヴィッセル神戸戦が行われ、山梨市観光協会の協力事業として所属するNPOの仲間の皆さんと、山梨県直産品のPR・販売活動に参加しました。

当日は今が旬の皮ごとサクサク食べられる「シャインマスカット」、ワインをジュースで割った「サングリア」が人気を集め、山梨県・山梨市のPRを行なうことができました。

★★★★★ 「友雅会ニュース」あとがき ★★★★★



▼小規模校（岩手小、牧丘第一小、牧丘第二小、牧丘第三小、三富小）は19人～108人の状況にあり今後さらに児童数が減少、教育委員会はこの対応策について小規模校教育環境検討委員会を設置し「望まし学校・学級規模」等を明らかにし小規模校の今後のあり方について地域説明会を始めた▼先日母校（牧三小児童数19名）で行われた説明会に出席。子どもたちが少なくなる中で現実的な課題として「子どもたちにとってどのような形で統合することがよいのか」等、多くの意見が出された▼市内の学校給食施設老朽化および小規模校の現状踏まえた、給食施設のあり方も喫緊の課題であり、それぞれの課題に対し将来を見据え、引き続き地域等と連携した取り組みを推進していきます。

<http://www.e-masao.net/>